

C型肝炎地域連携パス 運用状況報告書 (平成29年度)

【実施主体】 東京都

【運営主体】 東京都肝疾患診療連携拠点病院

23区 虎の門病院

多摩地区 武蔵野赤十字病院

(東京都肝疾患診療連携拠点病院事業)

目次

第1 地域連携パスの運用(登録)の概要・追跡調査の概要

第2 地域連携パスの運用(登録)の結果・追跡調査の結果

地域連携パスの運用(登録)

性別
年齢別
地域医療機関より専門機関へつないだ陽性者数
DAA治療状況
肝臓の状態
肝癌

追跡調査の結果

連携の有無
IFN治療歴
IFN治療結果
DAA治療歴（IFN-SVR、自然経過でのウイルス陰性化は除く）
DAA治療薬
DAA治療結果
DAA SVR後の肝臓の状態
DAA SVR後の定期画像診断の有無
DAA SVR後の定期画像診断の間隔
DAA SVR後の肝がんの有無
DAA SVR後の肝がん発症までの期間
DAA治療後の患者の継続受診

第3 参考資料

C型肝炎地域連携パスの事業概要
C型肝炎地域連携パスの実施・運営体制
C型肝炎地域連携パスの運用（平成29年度の流れ）
地域連携パスの運用（医療機関間の流れ）
－かかりつけ医→肝臓専門医療機関へ紹介の場合－
－肝臓専門医療機関→かかりつけ医へ紹介の場合－
地域連携パス（手帳）の使用方法①②③
C型肝炎地域連携パスの運用に係るQ&A（肝臓専門医療機関向け）
追跡調査票
新聞記事（平成29年7月4日 日経新聞朝刊）
問合せ先

第1

地域連携パスの運用（登録）
の概要・追跡調査の概要

地域連携パスの運用(登録)(平成29年7月1日開始)

- 運用目的
C型肝炎ウイルス陽性者を早期に治療につなげるとともに、治療後の継続的な観察を続け、病態悪化（肝がん発生）があれば早期に治療につなげる。
- 運用（登録）方法
東京都から、東京都肝疾患診療連携拠点病院である虎の門病院（23区）・武蔵野赤十字病院（多摩地区）に、C型肝炎地域連携パスの運用及び運用状況の取りまとめを委託して実施
 - * 東京都肝臓専門医療機関（東京都内）が地域連携パス登録ハガキに記載し、虎の門病院・武蔵野赤十字病院宛て投函する。虎の門病院・武蔵野赤十字病院にて収受し、地域連携パスの登録となる。
- 運用（登録）状況
平成29年7月1日から平成29年11月30日までの間に、虎の門病院・武蔵野赤十字病院にて地域連携パス登録ハガキを収受した症例

23区	395件
多摩地区	229件
合計	624件

地域連携パス追跡調査の実施(平成29年12月1日現在)

- 調査目的
地域連携パスに登録となった症例について、治療状況や治療後の肝がん発生状況等を把握し、今後の肝炎対策を推進するための行政資料とする。
- 調査対象
平成29年7月1日から平成29年11月30日までの間に、虎の門病院・武蔵野赤十字病院にて地域連携パス登録ハガキを収受した症例

23区	395件	(インターフェロンによるウイルス排除 20件含む)
多摩地区	229件	(インターフェロンによるウイルス排除 30件含む)
合計	624件	(インターフェロンによるウイルス排除 50件含む)
- 調査内容
上記624件の症例について、平成29年12月1日時点の治療状況等

○ 調査方法

- ・ 虎の門病院・武蔵野赤十字病院より、地域連携パス登録症例をもつ東京都肝臓専門医療機関（東京都内）に対し、追跡調査票を送付
- ・ 東京都肝臓専門医療機関が追跡調査票に記入し、虎の門病院・武蔵野赤十字病院に返信
- ・ 虎の門病院・武蔵野赤十字病院が集計し、報告書を作成

○ 回答状況

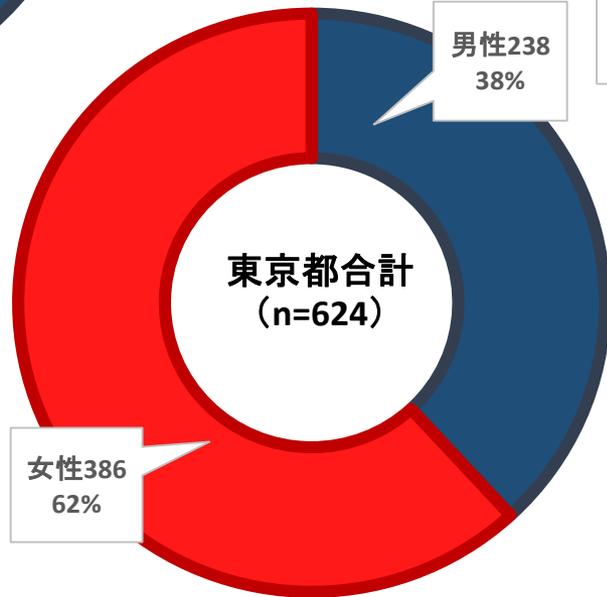
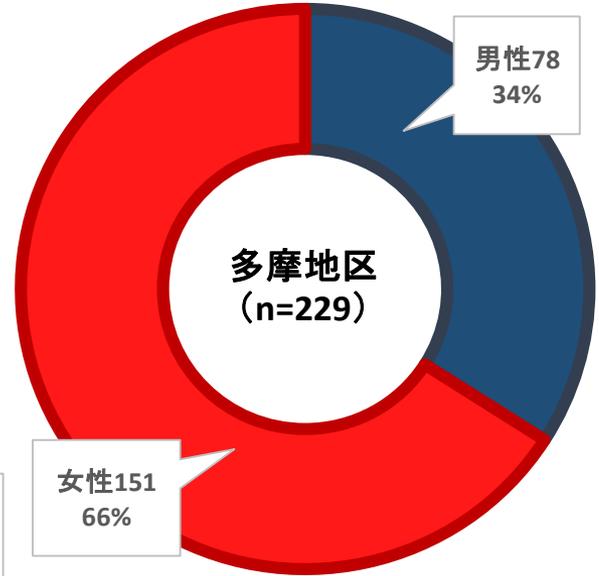
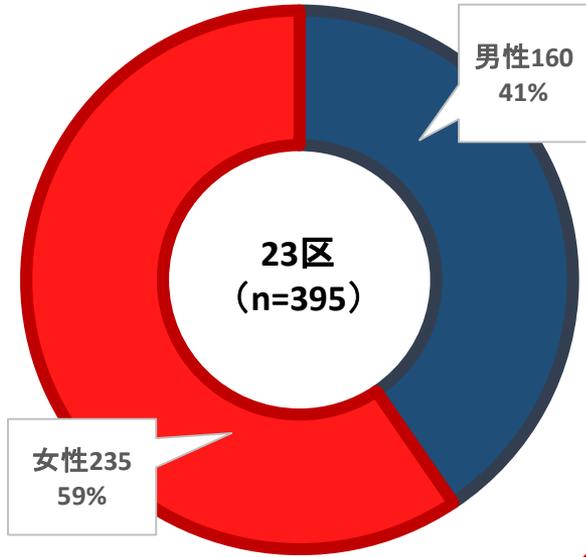
23区	393件（回収率99%）
多摩地区	229件（回収率100%）
合計	622件（回収率99%）

第2

地域連携パスの運用（登録）
の結果・追跡調査の結果

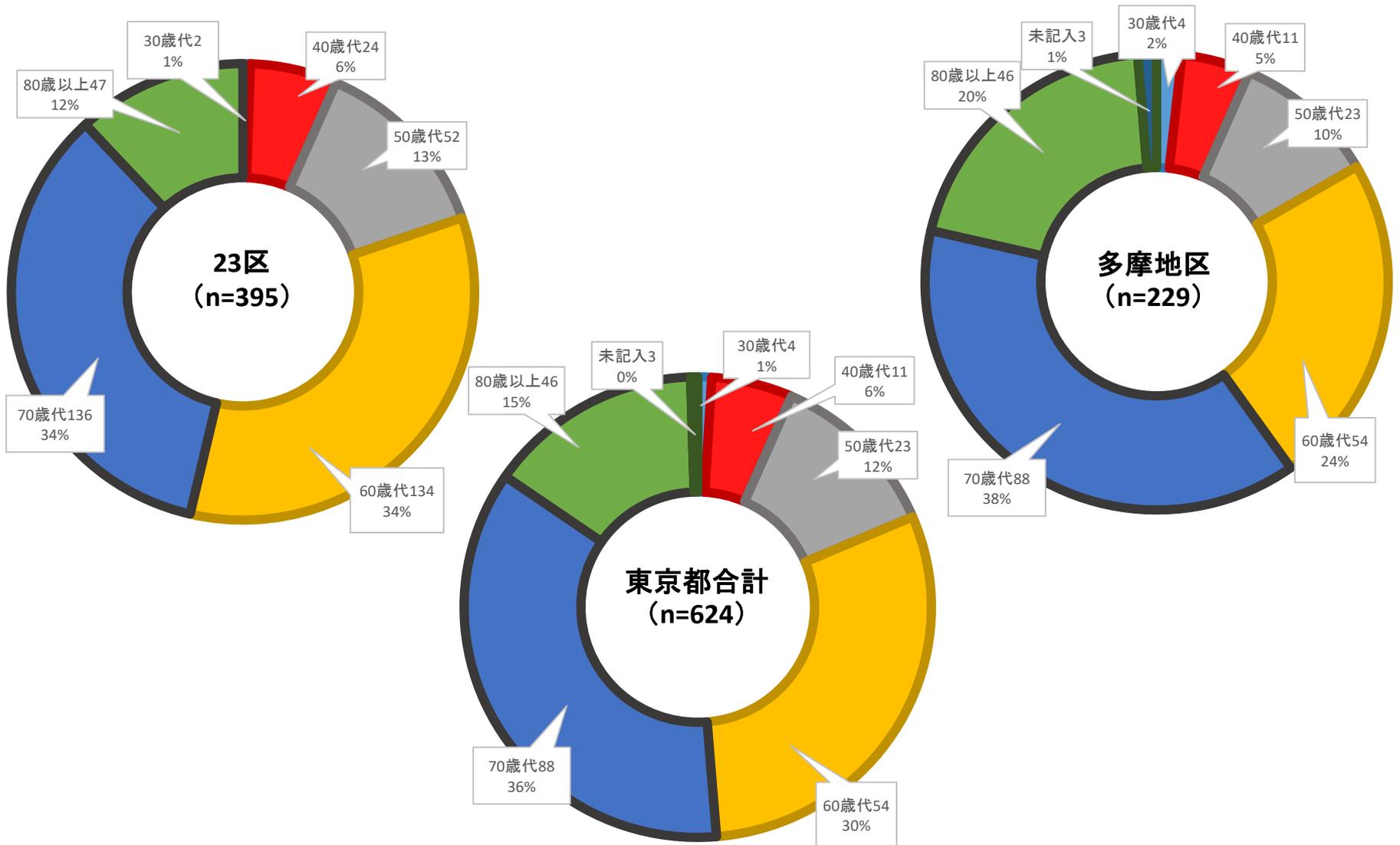
地域連携パスの運用(登録)(平成29年7月1日～平成29年11月30日)

=性別=



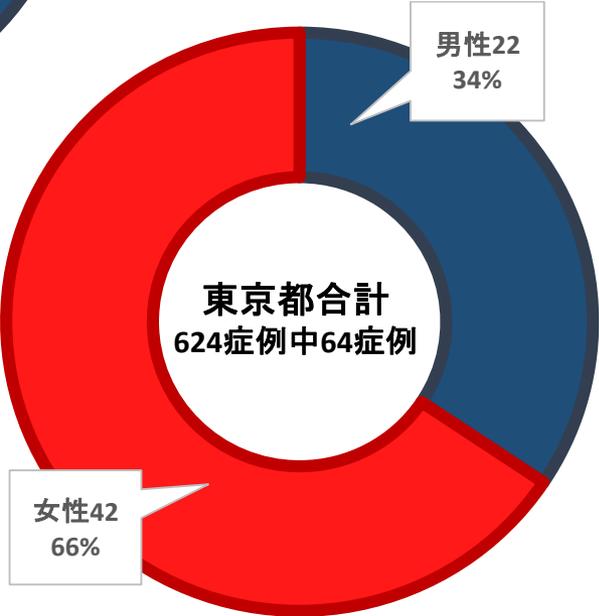
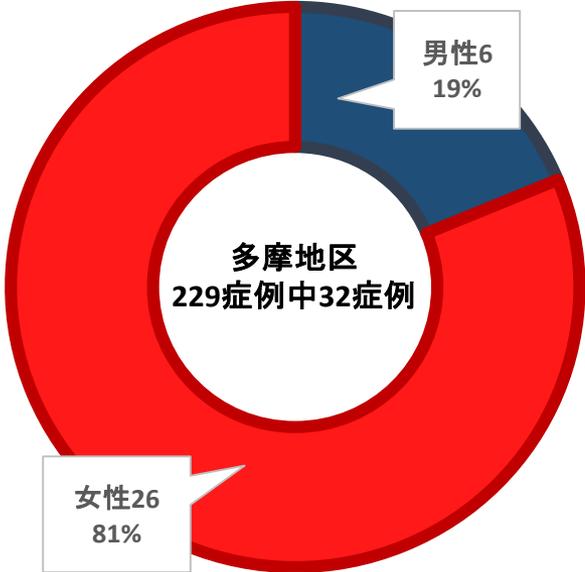
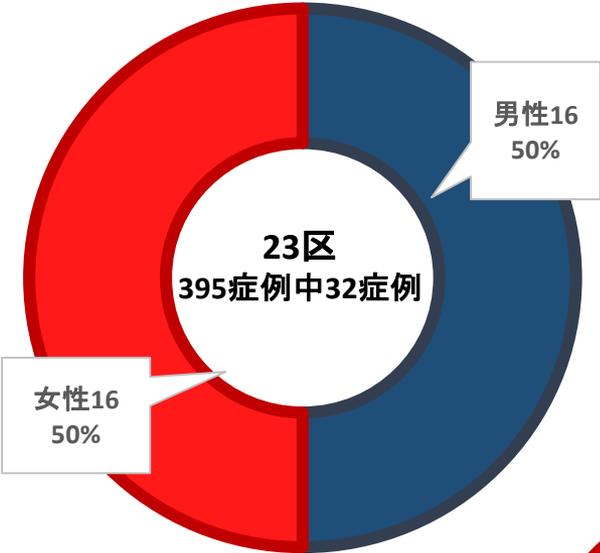
地域連携パスの運用(登録)(平成29年7月1日～平成29年11月30日)

=年齢別=



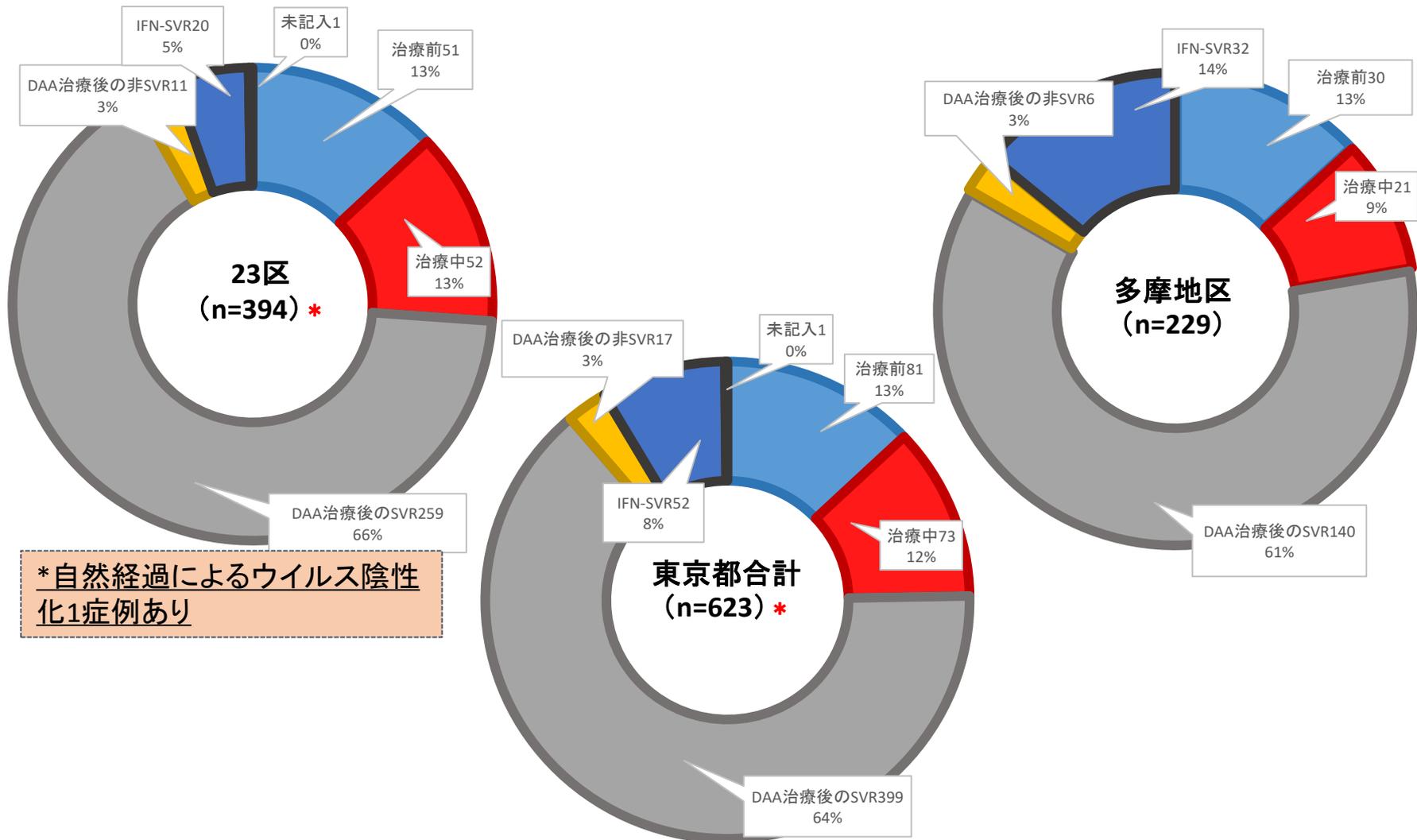
地域連携パスの運用(登録)(平成29年7月1日～平成29年11月30日)

＝地域医療機関より専門機関へつないだ陽性者数＝



地域連携パスの運用(登録)(平成29年7月1日～平成29年11月30日)

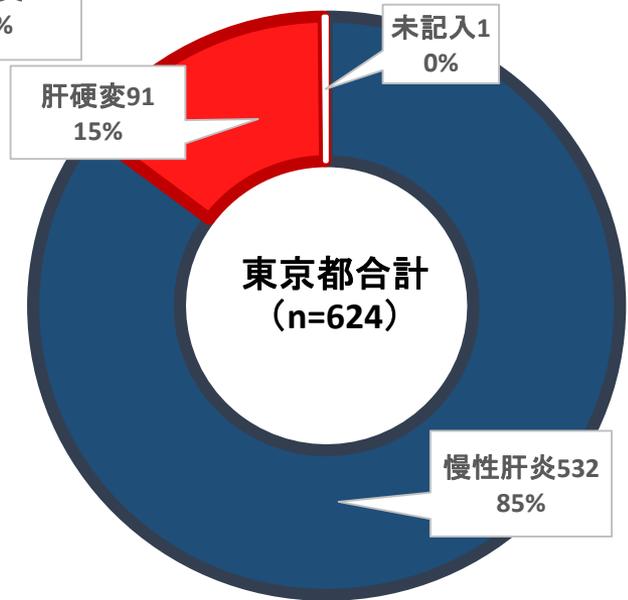
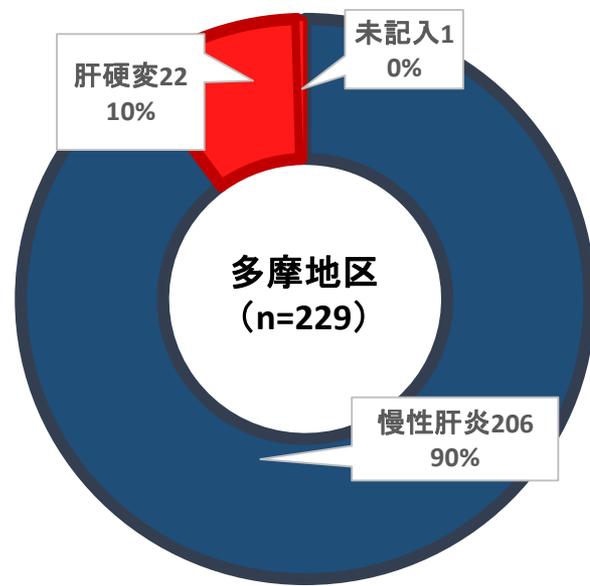
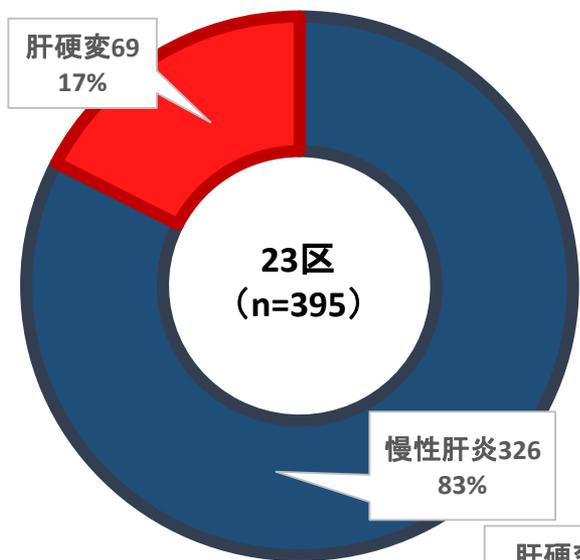
=DAA治療状況=



*自然経過によるウイルス陰性化1症例あり

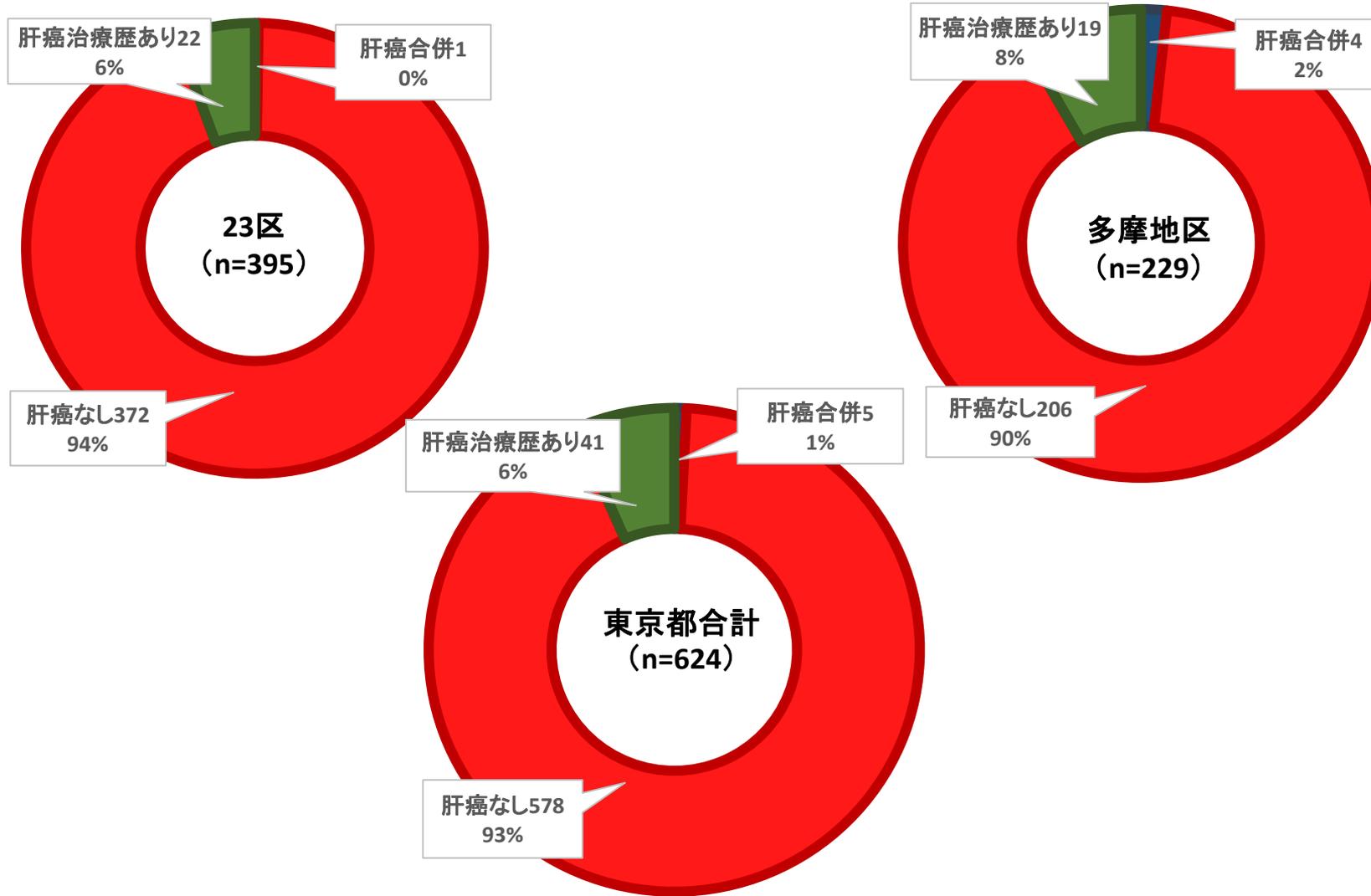
地域連携パスの運用(登録)(平成29年7月1日～平成29年11月30日)

=肝臓の状態=



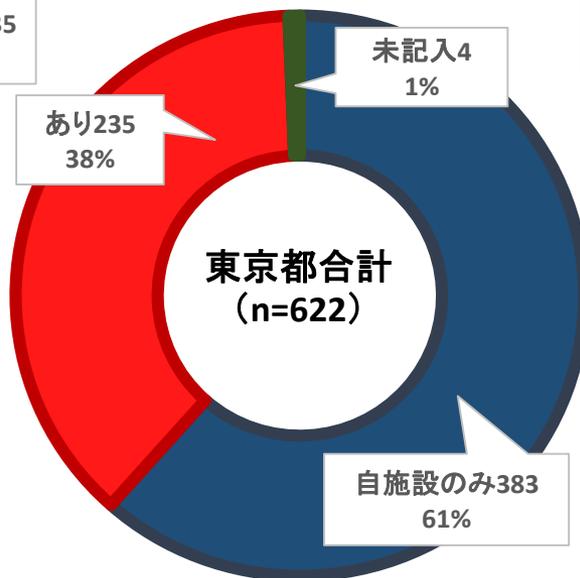
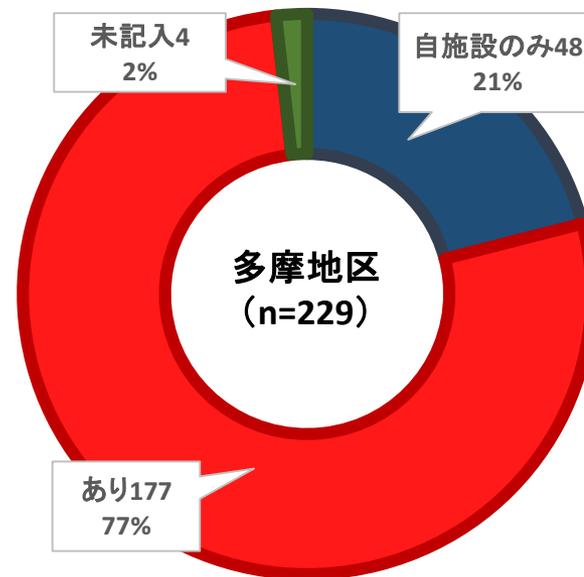
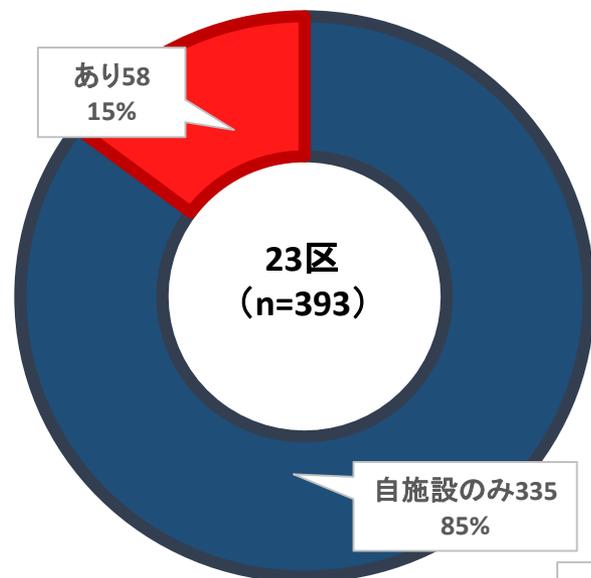
地域連携パスの運用(登録)(平成29年7月1日～平成29年11月30日)

= 肝癌 =



追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

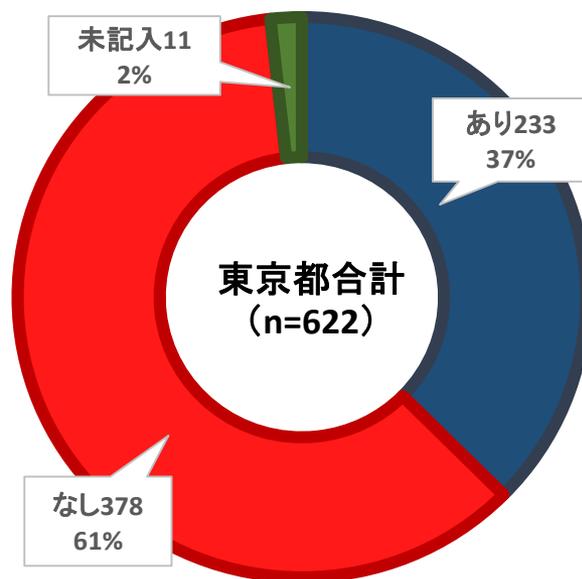
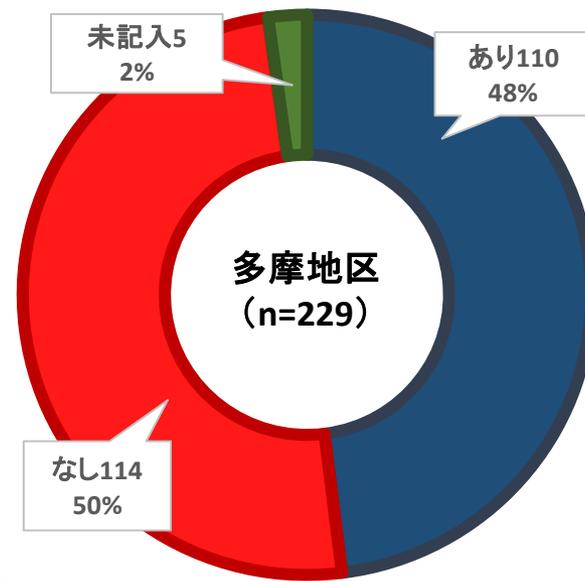
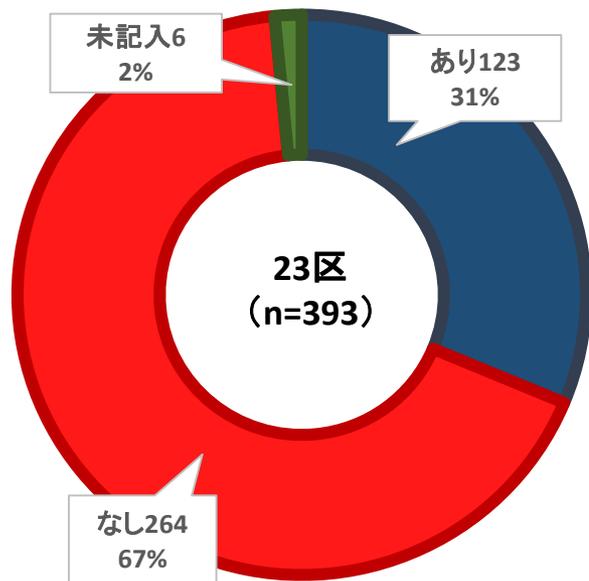
=連携の有無=



* 未回収2件あり

追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

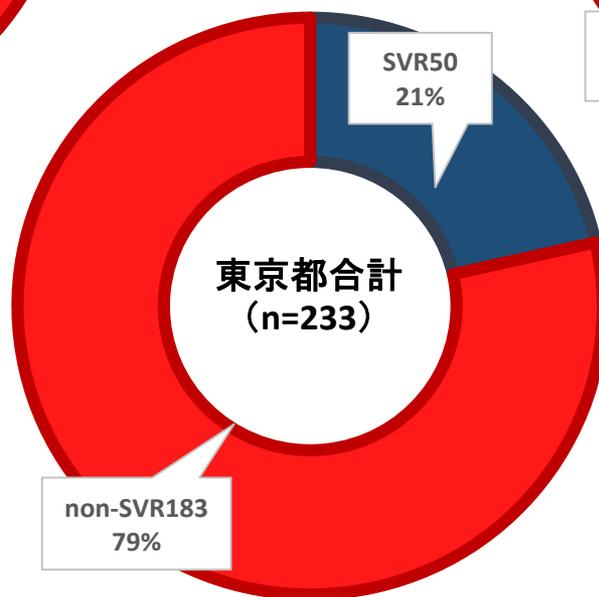
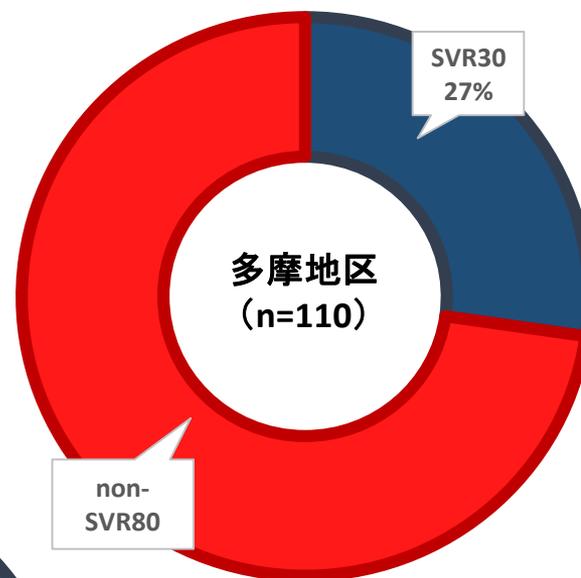
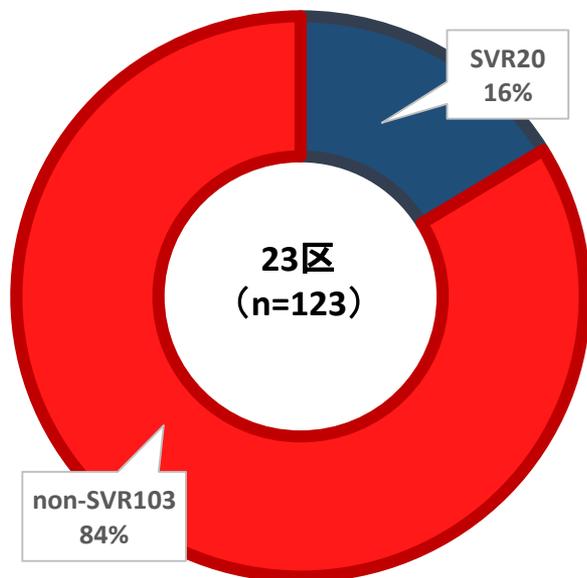
=IFN治療歴=



* 未回収2件あり

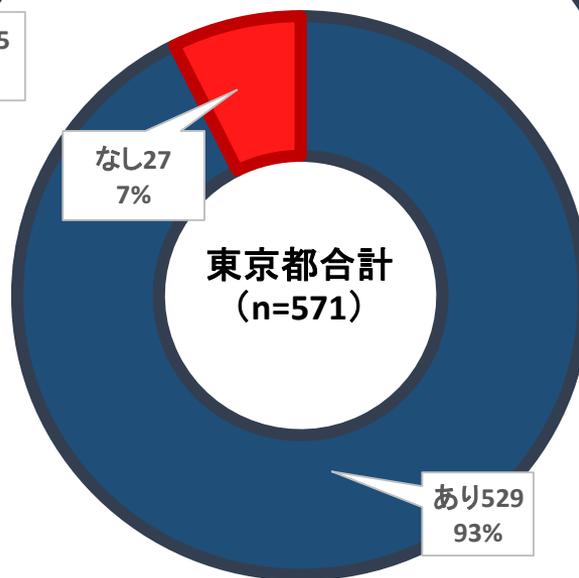
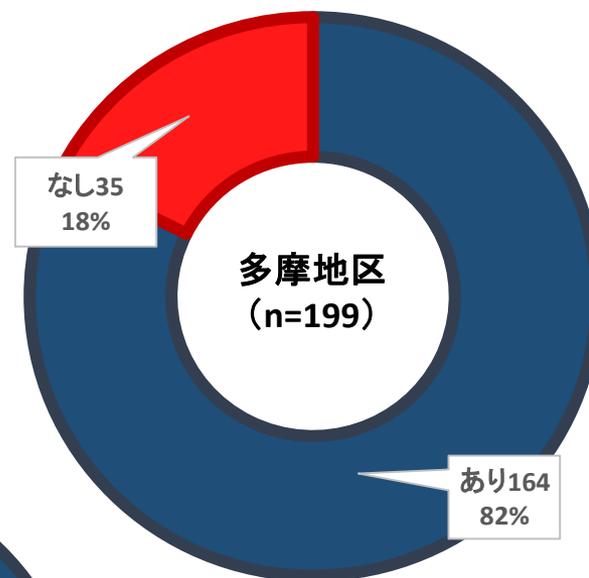
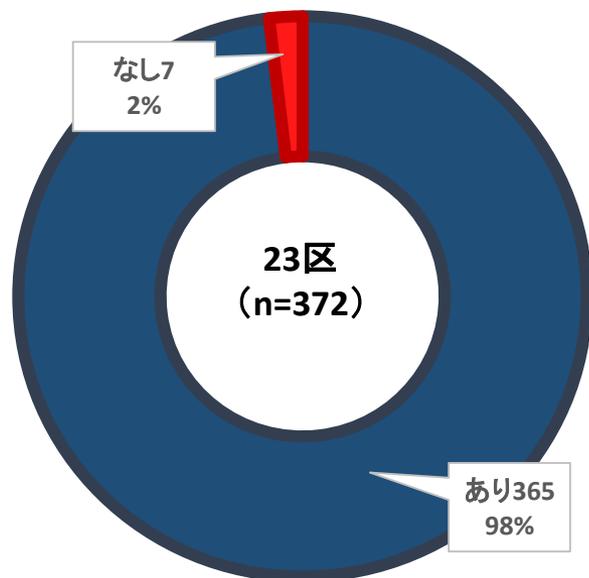
追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

=IFN治療結果=



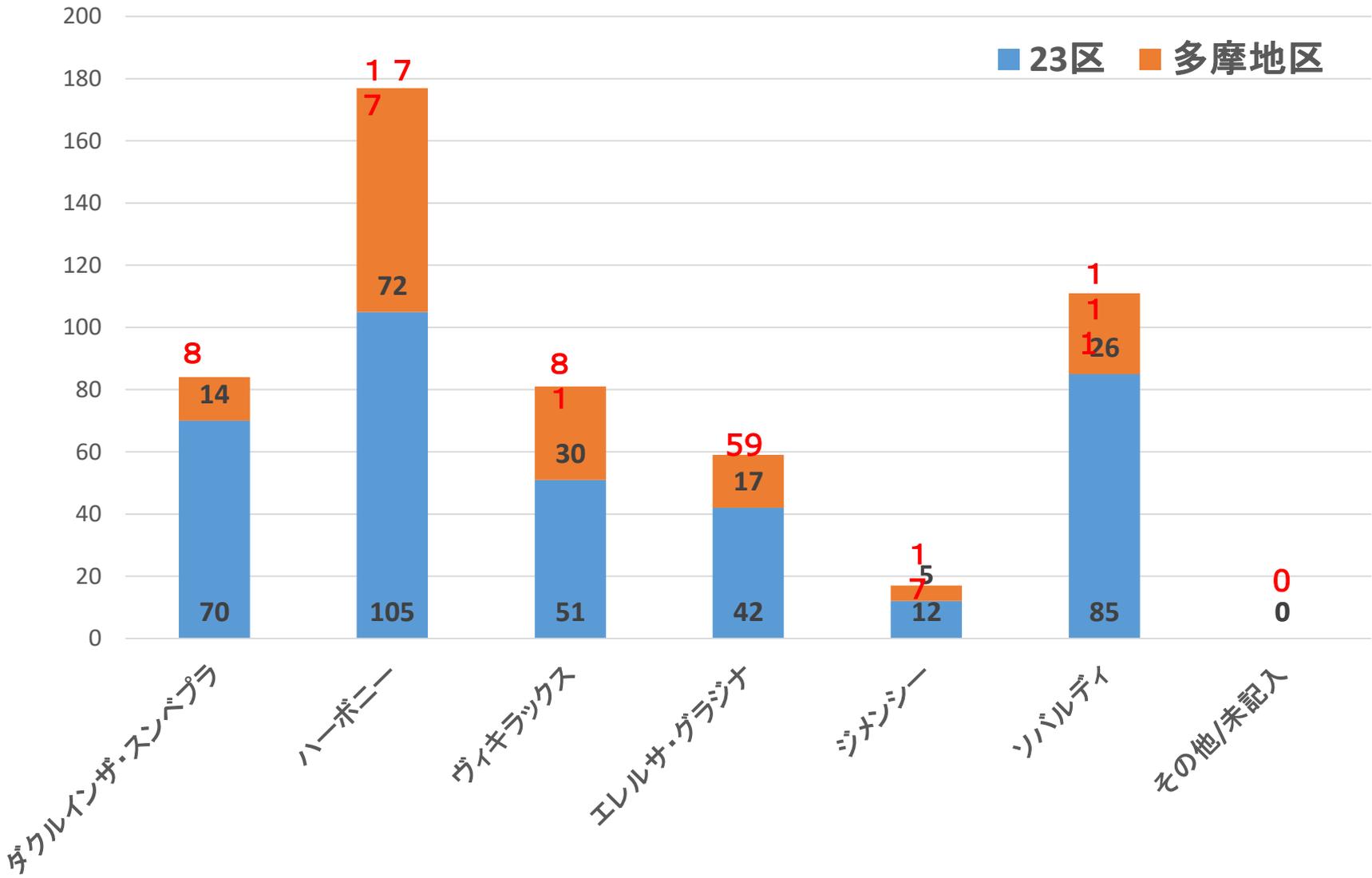
追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

=DAA治療歴(IFN-SVR、自然経過でのウイルス陰性化は除く)=



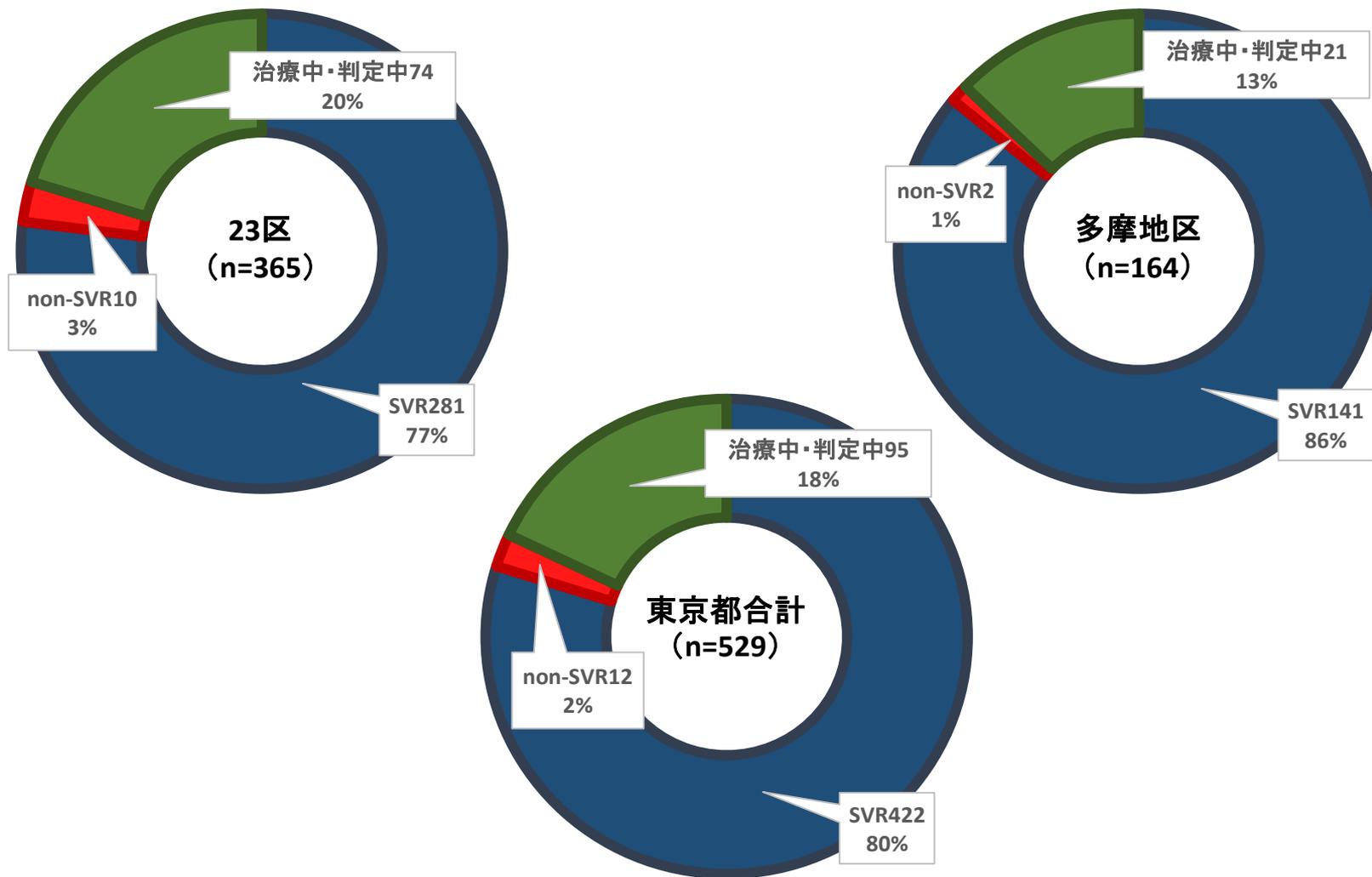
追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

=DAA治療薬=



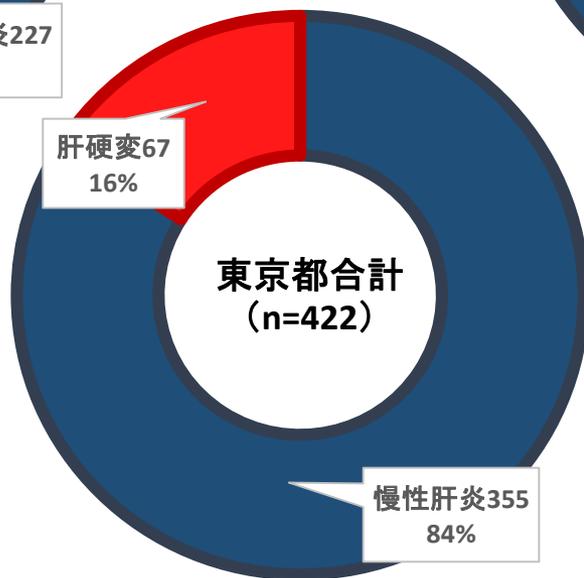
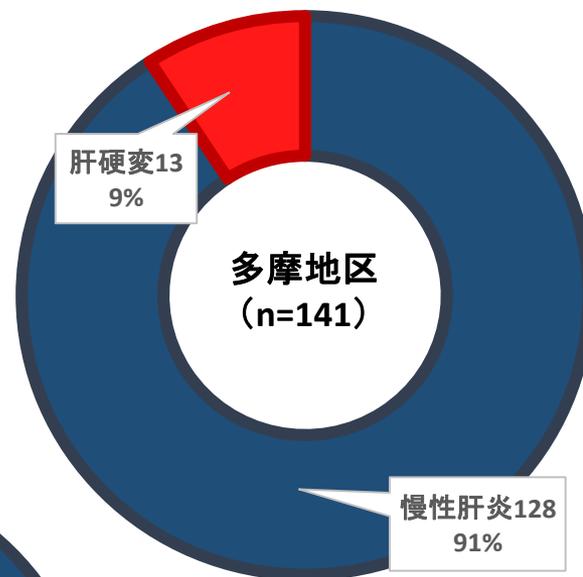
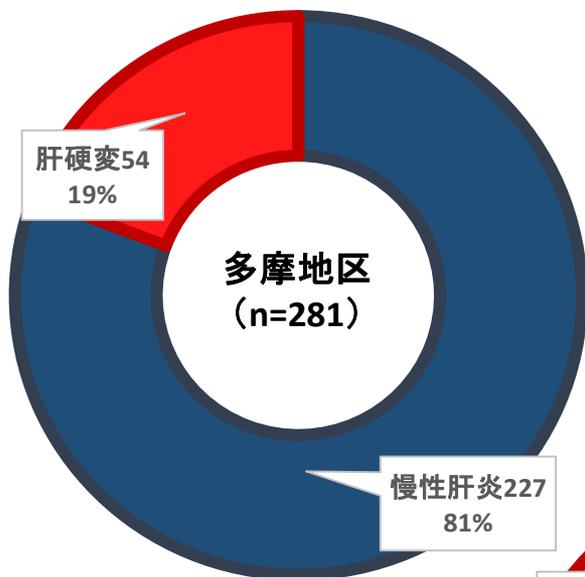
追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

＝DAA治療結果＝



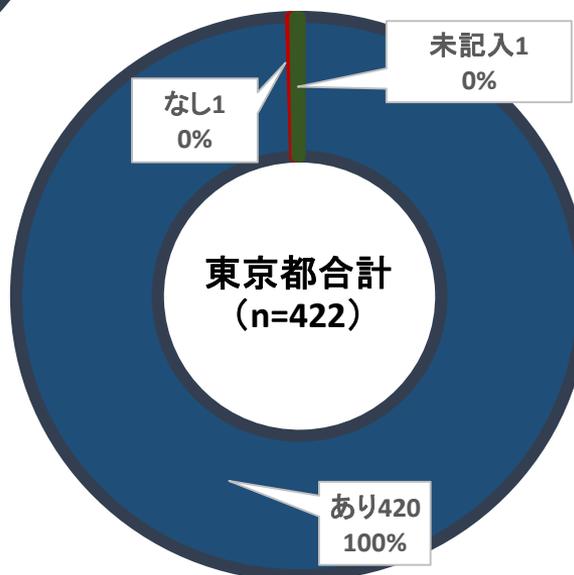
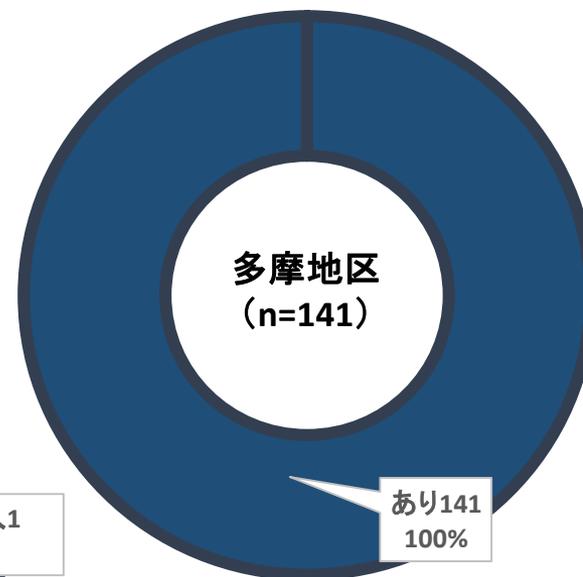
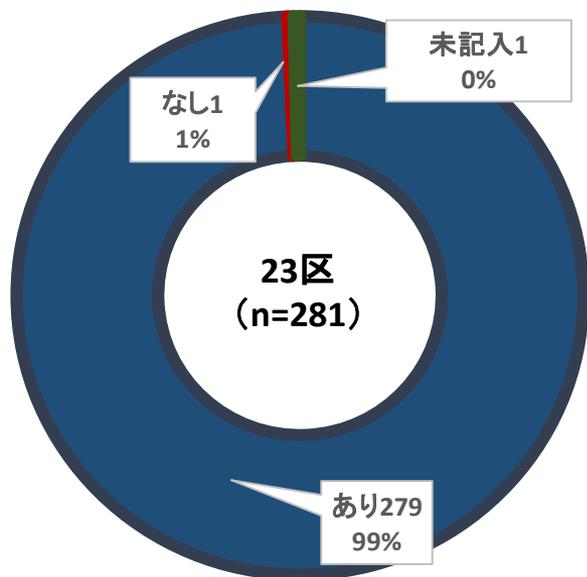
追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

=DAASVR後の肝臓の状態=



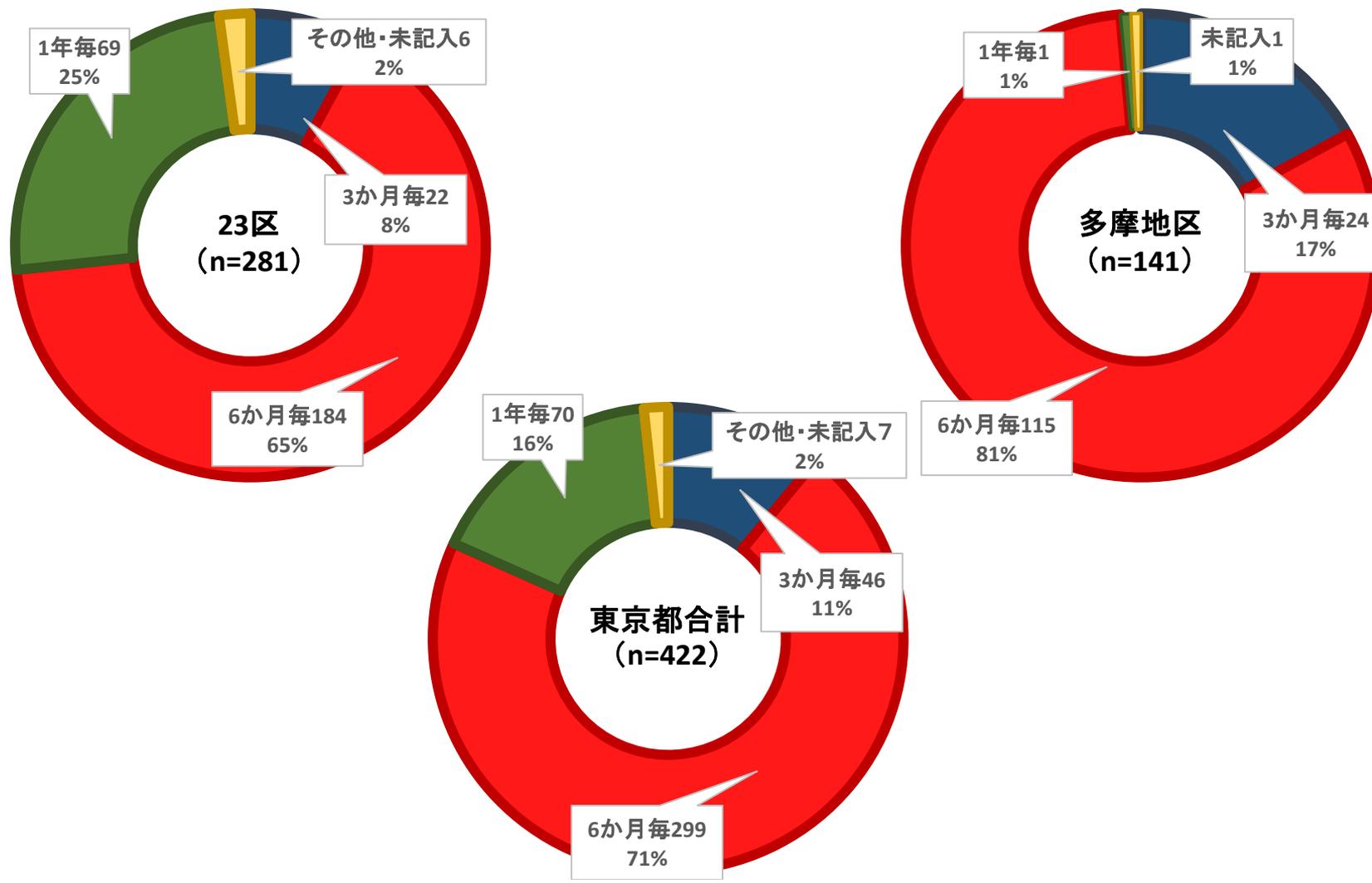
追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

=DAASVR後の定期画像診断の有無=



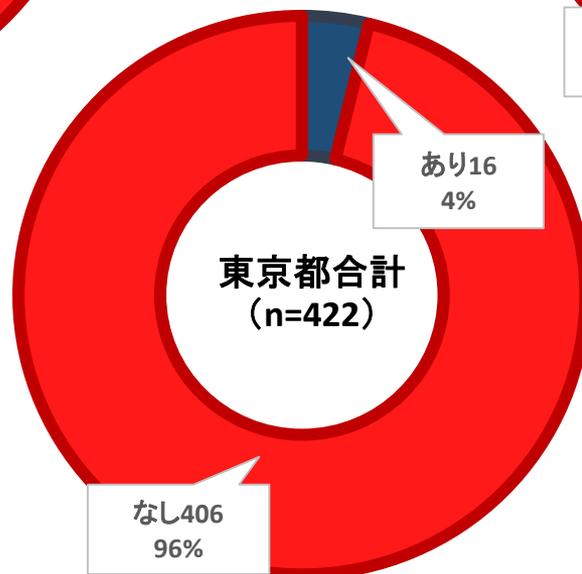
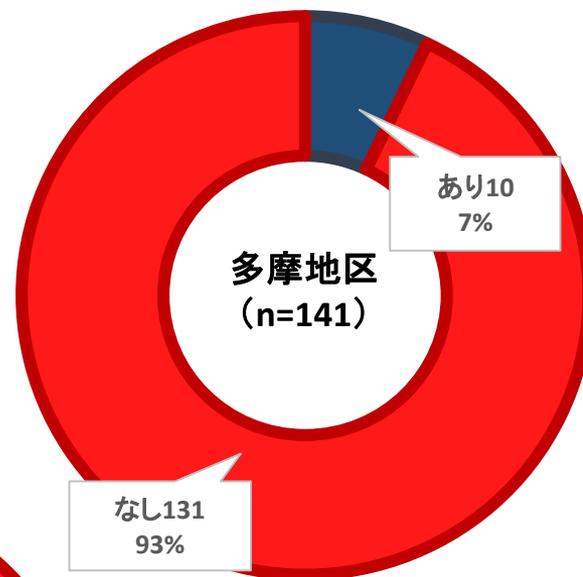
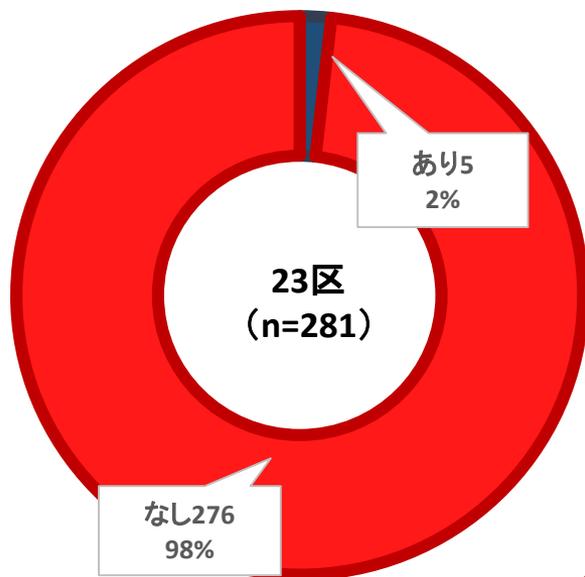
追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

＝DAASVR後の定期画像診断の間隔＝



追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

＝DAASVR後の肝がんの有無＝



※DAA治療後からSVR判定前の発癌3件

追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

=DAASVR後の肝がん発症までの期間=

23区(n=281)

	SVR判定後1年以内	1年以上2年未満	2年以上3年未満	合計
実人数	113	144	24	281
うち肝がん発生数	4	0	1	5
うち新規の肝がん発生数	4	0	1	5

※DAA治療後からSVR判定前の発癌3件
(初発2件、再発1件)

多摩地区(n=141)

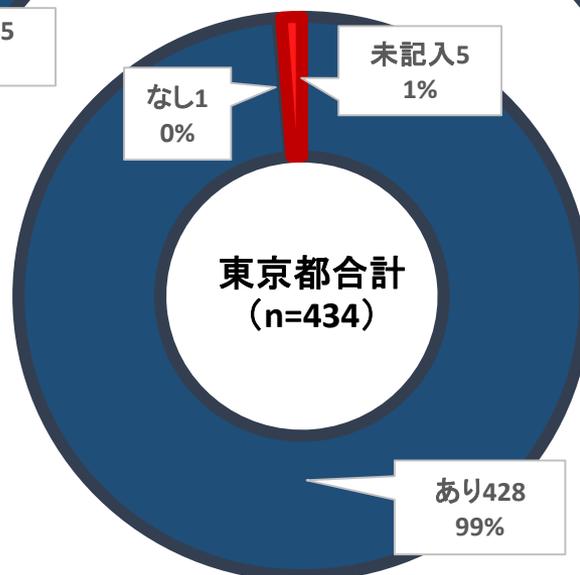
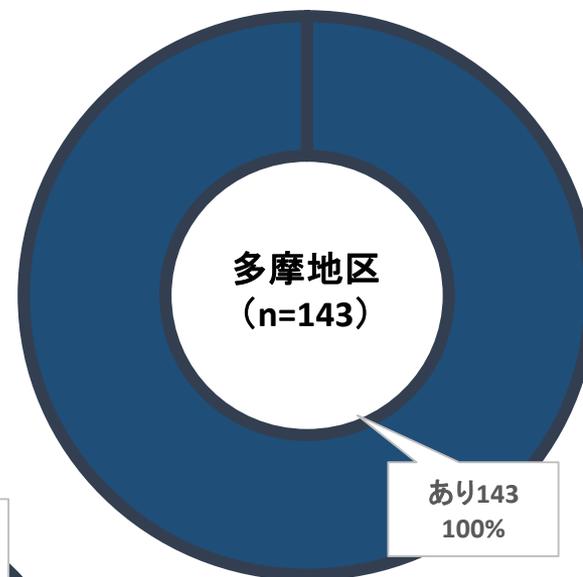
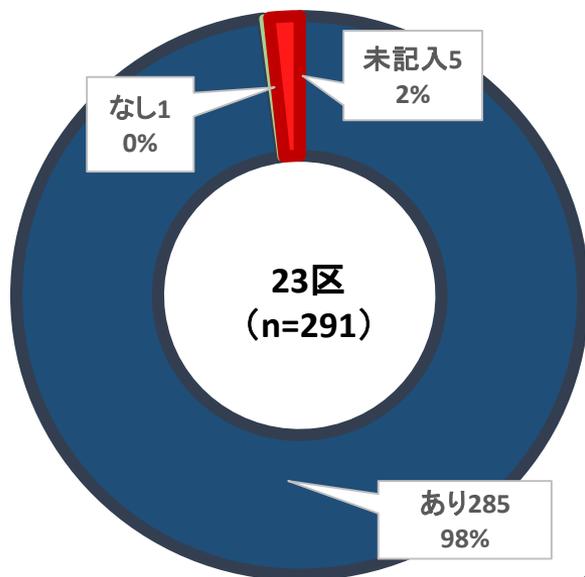
	SVR判定後1年以内	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	6年以上7年未満	合計
実人数	86	43	6	1	4	1	141
うち肝がん発生数	6	2	1	0	1	0	10
うち新規の肝がん発生数	2	2	1	0	1	0	6

東京都合計(n=422)

	SVR判定後1年以内	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	6年以上7年未満	合計
実人数	199	187	30	1	4	1	422
うち肝がん発生数	10	2	2	0	1	0	15
うち新規の肝がん発生数	6	2	2	0	1	0	11

追跡調査の結果(対象:平成29年7月1日～平成29年11月30日登録症例)

=DAA治療後の継続受診(非SVR含む)=



第 3

参考資料

C型肝炎地域連携パスの事業概要

目的

○地域連携パスを運用し、C型肝炎ウイルス検査で陽性判定となったが継続的な受診をしないままにいるキャリアを確実に掘り起こし、かかりつけ医から肝臓専門医療機関に着実につなげる。

○肝臓専門医療機関による治療後も、定期的な観察を続け、治療後の病態悪化(肝がん発生)があれば、早期に治療につなげる。

○C型肝炎ウイルス陽性者の早期治療によるウイルスの排除を目指す。

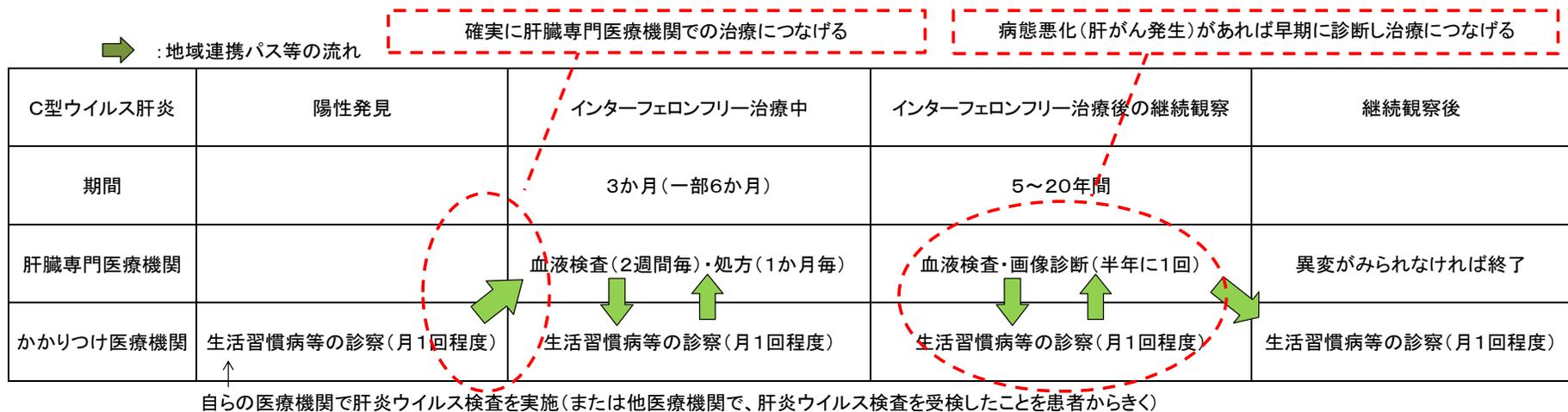
○治療後の肝がん発生の早期診断・治療を図る。

具体的な方法

○肝疾患診療連携拠点病院に地域連携パスの運用を委託

- ・拠点病院にて、地域連携パスのフォーマットを作成
- ・拠点病院が地域連携パス協議会を開催。各地区医師会に対し、地域連携パスの運用を周知
- ・拠点病院が、連携パスの項目を集計(連携パス運用数・発がん数等)、協議会にて定期的に結果報告

診療の流れ (イメージ)



C型肝炎地域連携パスの実施・運営体制

実施主体

運営主体

東京都



C型肝炎地域連携推進事業(東京都肝疾患診療連携拠点病院事業のメニュー)として委託

拠点病院

(23区)
虎の門病院

(多摩地区)
武蔵野赤十字病院

事業の制度設計
全体把握

事業の運営
(連携パス手帳の作成・配布、対象者の集計、運用に関する問い合わせ対応等)

C型肝炎地域連携パスの運用（平成29年度の流れ）

東京都・拠点病院

連携パス様式検討

4月上旬～下旬

拠点病院

連携パス印刷・ホームページ作成等

5月上旬～下旬

拠点病院主催

連携パス協議会（地区医師会向け） 6月下旬

東京都主催

説明会（肝臓専門医療機関向け） 6月下旬

連携パスの運用開始

7月1日開始

拠点病院→肝臓専門医療機関→拠点病院

連携パス追跡調査の実施

12月1日現在で調査実施

拠点病院

連携パスの集計・報告書の作成

12月～3月

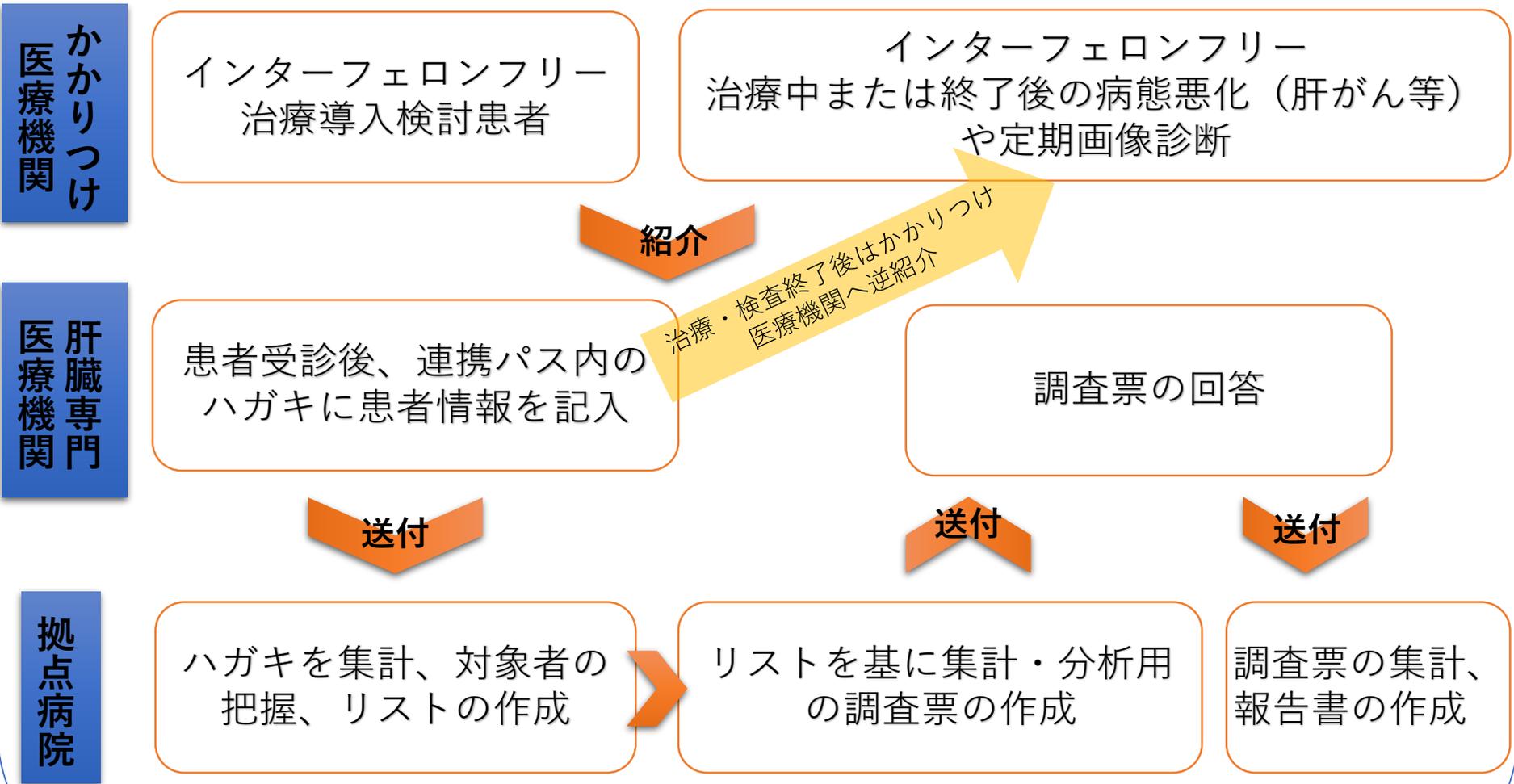
拠点病院主催

次年度連携パス協議会にて報告
（地区医師会向け）

拠点病院

郵送による報告
（肝臓専門医療機関向け）

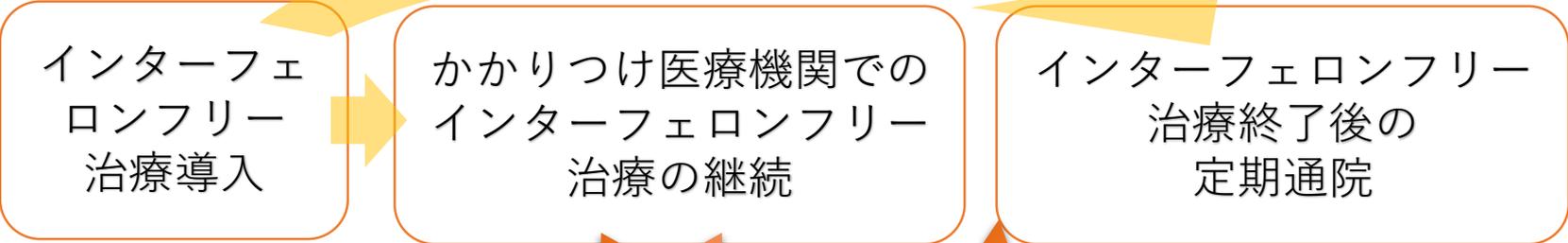
地域連携パスの運用（医療機関間）の流れ —かかりつけ医→専門医療機関へ紹介の場合—



地域連携パスの運用（医療機関間）の流れ — 専門医療機関 → かかりつけ医へ紹介の場合 —

かかりつけ医療機関

医療機関
肝臓専門



治療導入またはかかりつけ医療機関へ紹介後、連携パス内のハガキに患者情報を記入

調査票の回答

拠点病院

送付
ハガキを集計、対象者の把握、リストの作成

送付
リストを基に集計・分析用の調査票の作成

送付
調査票の集計、報告書の作成

地域連携パス（手帳）の使用方法①

表紙（表）

開始日付： 年 月 日

健康な生活を送るために
肝臓手帳

氏名： _____

肝臓専門病院： _____

かかりつけ医： _____

表紙（裏）

この手帳は、C型肝炎地域連携パスです

- この手帳は、肝臓専門医療機関とかかりつけ医が連携して診療を提供することを目的に作成されました。
- 患者さんは、肝臓専門医療機関やかかりつけ医から伝えられた検査結果や治療内容を記入してください。
- 手帳によって診療情報が共有されますので、安心して肝臓専門医療機関やかかりつけ医の診療を受けることができます。
- 他の医療機関を受診する場合でも、連携手帳をお持ち頂ければ、診療内容が正確に伝わり、診療に役立ちます。
- なお、肝臓専門医療機関とかかりつけ医の連携をさらに推進するため、患者さんの個人情報を除いて、この手帳の利用状況などを集計し、東京都ウイルス肝炎対策協議会等に報告することがありますので、ご了承ください。

* 患者情報記載用ハガキ

開始日付： 年 月 日

新規（治療前） 継続（follow up）

性別	年齢		
かかりつけ医 (患者ID:)	施設・機関名	担当医師名	
専門医 (患者ID:)	施設・機関名	担当医師名	
かかりつけ医 → 専門医に紹介の 場合	専門医紹介時の DAA治療状況	<input type="checkbox"/> DAA治療前 <input type="checkbox"/> DAA治療後の SVR	<input type="checkbox"/> DAA治療中 <input type="checkbox"/> DAA治療後の 非SVR
	慢性肝炎 の肝臓病の状態	<input type="checkbox"/> 肝硬変 <input type="checkbox"/> 肝硬変なし	<input type="checkbox"/> 肝臓治療歴 あり <input type="checkbox"/> 肝臓治療歴 なし
専門医 → かかりつけ医に 紹介の場合	非専門医への 紹介時の DAA治療状況	<input type="checkbox"/> DAA治療前 <input type="checkbox"/> DAA治療後の SVR	<input type="checkbox"/> DAA治療中 <input type="checkbox"/> DAA治療後の 非SVR
	慢性肝炎 の肝臓病の状態	<input type="checkbox"/> 肝硬変 <input type="checkbox"/> 肝硬変なし	<input type="checkbox"/> 肝臓治療歴 あり <input type="checkbox"/> 肝臓治療歴 なし

郵便はがき
180-8790

料金を取払郵便
武蔵野局承認
9034
〒203-0601
平成31年6月
30日まで

肝疾患相談センター
地域連携パス事務局
行

東京都武蔵野市境南町一の二六の一
武蔵野赤十字病院

* 専門医記入ページ

* 患者情報記載用ハガキフリー記入ページ

* 専門医記入欄

C型肝炎治療歴

インターフェロン
 インターフェロンフリー
(1, 2, 3回以上)

**インターフェロン・フリー
治療の現況**

治療 有 無

治療薬 ダクリンザ+スンベプラ
 ハーボニー
 ヴィキラックス
 エレルサ+グラジナ
 ジメキシール
 ソバルディ
 その他

治療結果
 ウイルス排除成功
 ウイルス排除不成功

* 専門医記入欄

**肝がん発見のための
定期的画像診断**

専門医で施行
 かかりつけ医で施行

検査間隔 3か月毎
 6か月毎
 1年毎
 その他

年

月日	/	/	/	/	/	/
受診場所	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支
診察 検査項目	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査
備考 申し送り						

ご自分の健康を保つために、確認しておきましょう

AST(GOT)	
ALT(GPT)	
総ビリルビン	
アルブミン	
ヘモグロビン	
血小板	
AFP	
PIVKA-2	
HCV RNA	

年

月日	/	/	/	/	/	/
受診場所	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支	かかりつけ医 市町支
診察 検査項目	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査	診察 採血 尿検査
備考 申し送り						

ご自分の健康を保つために、確認しておきましょう

AST(GOT)	
ALT(GPT)	
総ビリルビン	
アルブミン	
ヘモグロビン	
血小板	
AFP	
PIVKA-2	
HCV RNA	

地域連携パス（手帳）の使用方法②

インターフェロンフリー治療導入前の場合は「新規」、治療中もしくは治療終了後の場合は「継続」へチェックしてください

手帳を患者さんへ配布した日付を記入してください

宛名面は23区→虎の門病院、多摩地区→武蔵野赤十字病院宛てのものが入っています

開始日付： 年 月 日
 新規（治療前） 継続（follow up）

性別		年齢	
かかりつけ医 （患者ID：）	施設・機関名		
	担当医師名		
専門医 （患者ID：）	施設・機関名		
	担当医師名		
かかりつけ医 → 専門医に紹介の場合	専門医紹介時の DAA治療状況	<input type="checkbox"/> DAA治療前	<input type="checkbox"/> DAA治療中
		<input type="checkbox"/> DAA治療後のSVR	<input type="checkbox"/> DAA治療後の非SVR
専門医 → かかりつけ医に紹介の場合	専門医紹介時の 肝臓病の状態	<input type="checkbox"/> 慢性肝炎	<input type="checkbox"/> 肝癌治療歴あり
		<input type="checkbox"/> 肝硬変	<input type="checkbox"/> 肝癌合併あり <input type="checkbox"/> 肝癌なし
専門医 → かかりつけ医に紹介の場合	非専門医への逆 紹介時の DAA治療状況	<input type="checkbox"/> DAA治療前	<input type="checkbox"/> DAA治療中
		<input type="checkbox"/> DAA治療後のSVR	<input type="checkbox"/> DAA治療後の非SVR
専門医 → かかりつけ医に紹介の場合	非専門医への逆 紹介時の 肝臓病の状態	<input type="checkbox"/> 慢性肝炎	<input type="checkbox"/> 肝癌治療歴あり
		<input type="checkbox"/> 肝硬変	<input type="checkbox"/> 肝癌合併あり <input type="checkbox"/> 肝癌なし

12月（予定）の調査の際に必要となりますので、必ずご記入ください

郵便はがき
 料金受取人払郵便
 武蔵野局承認
 9034
 差出有効期限
 平成31年6月
 30日まで

郵便はがき
 1 8 0 - 8 7 9 0

肝疾患相談センター
 地域連携パス事務局 行
 東京都武蔵野市境南町一の二六の一
 武蔵野赤十字病院



* 記入後は個人情報保護シール貼付の上、投函してください

地域連携パス（手帳）の使用方法③

* 専門医記入欄

C型肝炎治療歴

- インターフェロン
- インターフェロンフリー
(1, 2, 3回以上)

インターフェロン・フリー 治療の現況

治療 有 無

- 治療薬
- ダクルインザ+スンベプラ
 - ハーボニー
 - ヴィキラックス
 - エレルサ+グラジナ
 - ジメンシー
 - ソバルディ
 - その他

治療結果

- ウイルス排除成功
- ウイルス排除不成功

複数回治療している場合は、過去に使用した薬剤すべてにチェックを入れ、治療の順番を数字で記載してください

* 専門医記入欄

肝がん発見のための 定期的画像診断

- 専門医で施行
- かかりつけ医で施行

- 検査間隔
- 3か月毎
 - 6か月毎
 - 1年毎
 - その他

C型肝炎地域連携パスの運用に係るQ&A (肝臓専門医療機関向け)

【Q1】肝臓手帳の専門医記入欄は、どのタイミングで記入するのか。

【A1】毎年度12月に実施予定の「連携パス対象者の状況調査」の内容をお知らせするものです。連携パス登録時や運用にあたって、特に記入いただく必要はありません。(患者さんとの情報共有等のために、自由にご活用いただくことは構いません。)

【Q2】肝臓手帳の患者データ欄は、肝臓専門医療機関が記入するのか。

【A2】ご自身の体調を確認するため、患者さんご自身で記入していただくよう、伝えてください。肝臓手帳(表紙の裏面)に、「患者さんは、肝臓専門医療機関やかかりつけ医から伝えられた検査結果や治療内容を記入してください。」と記載しています。

【Q3】院内(他科)から患者さんが紹介されてきた場合、かかりつけ医がないことになり、かかりつけ医欄は、どのように記入するのか。

【A3】院内(他科)の紹介した先生を記入してください。また、治療及びフォローアップが同一の先生の場合(治療後のフォローアップの段階から連携パス登録をする場合)、かかりつけ医欄・専門医欄とも、同じお名前を記入してください。

【Q4】連携パス開始時に、すでに肝がんを発生している患者さんでも登録するのか。

【A4】登録をお願いします。

【Q5】DAA治療後の肝がん発生のケースについても登録するのか。(肝がん治療→DAA治療→DAA治療後に肝がん発生のケース)

【A5】肝がん治療後、DAA治療、さらに肝がん発生、という患者さんも調査するため、登録をお願いします。

【Q6】主治医の異動等に伴い、患者さんが医療機関を変更した場合は、地域連携パス(肝臓手帳)を引き継ぐのか。

【A6】変更先の医療機関で、肝臓手帳を患者さんに新たに手渡し、新規登録(ハガキの投函)してください。変更前の医療機関は、地域連携パスの調査対象から、外れることとなります。

【Q7】患者さんが肝臓手帳を紛失した場合や、患者データ欄がすべて埋まった場合はどうするのか。

【A7】新たに肝臓手帳を患者さんに手渡してください。ただし新規登録（ハガキの投函）はする必要はありません。手元に肝臓手帳の在庫がない場合は、虎の門病院（23区）、武蔵野赤十字病院（多摩地区）に、請求してください。

【Q8】連携パスのデータを集計するにあたって、患者さんの同意書は必要なのか。

【A8】データの集計は、学会発表や論文化するものではなく行政資料として活用することを想定しています。肝臓手帳（表紙の裏面）に、「患者さんの個人情報を除いて、この手帳の利用状況などを集計し、東京都ウイルス肝炎対策協議会等に報告することがありますので、ご了承ください。」と記載しており、これをもって、同意をいただいている、と判断します。ただし、患者さんが拒んだ場合は、無理に手帳を手渡さないでください。

【Q9】院内の倫理審査委員会にかけると必要があるのか。

【A9】日本医学会から、医療に関する研究については個人情報保護法の対象外であることが示されています。倫理審査委員会については、それぞれの医療機関で必要と思われる場合には、かけてください。ただし、今回の連携パスの集計は、学会発表するのではなく、行政資料として活用することを想定しており、その観点からそれぞれの医療機関でご判断ください。

追跡調査票 (平成29年12月1日時点の状況を御記入ください。)

管理番号*1			
*1 管理番号:同封の調査対象者リストをご参照ください			
年齢*2			
*2 追跡調査時の年齢をご記入ください			
かかりつけ医との連携の有無	<input type="checkbox"/> 連携あり <input type="checkbox"/> 自施設のみで診療		
現在の肝臓の状態	<input type="checkbox"/> 慢性肝炎 <input type="checkbox"/> 肝硬変		
IFN治療歴	治療歴	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	IFN治療結果	<input type="checkbox"/> SVR*3 <input type="checkbox"/> 非SVR	
*3 IFN治療によりSVRを得られた症例については以下の項目については記入しないでください			
DAA治療について	治療	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	有の場合治療期間: 年 月 日～ 年 月 日
	治療薬	<input type="checkbox"/> ダクルインザ+スンペプラ <input type="checkbox"/> ハーボニー <input type="checkbox"/> ヴィキラックス <input type="checkbox"/> エレルサ+グラジナ <input type="checkbox"/> ジメンシー <input type="checkbox"/> ソバルディ <input type="checkbox"/> その他	
	DAA治療結果*4	<input type="checkbox"/> SVR <input type="checkbox"/> 非SVR <input type="checkbox"/> 治療中	
*4 複数回治療している場合は直近の治療についてご記入ください 治療終了後24週時点での評価をお願いいたします			
肝がん発見のための定期的画像診断	発がんの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	発がん有の場合	<input type="checkbox"/> 初発 <input type="checkbox"/> 再発(回目)	
	肝がん発症までの期間*5	年 ヲ月	*5 肝がん発症までの期間についてはDAA治療後SVRを得られた症例についてのみSVR判定時(治療終了24週)からの期間をご記入ください
	定期的画像診断の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	検査間隔	<input type="checkbox"/> 3ヵ月毎 <input type="checkbox"/> 6ヵ月毎 <input type="checkbox"/> 1年毎 <input type="checkbox"/> その他	
DAA治療後の患者の継続受診	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
	最終受診日	西暦 年 月	

東京都、肝臓手帳の運用開始

7/4 C型肝炎の早期治療促進

東京都は7月から、C型肝炎患者の医療情報を運用を始めた。C型肝炎ウイルスに感染し記録する「肝臓手帳」の運用を始めた。C型肝炎は治療しなければ肝硬変

の治療後も専門医とかがりつけ医が連携し、患者の状態を定期的にチェックする。肝がんの発生など病態が悪化した場合には、早期に治療する体制を整える。

都は手帳の運用実績などを見極めた上で、B型肝炎にも対象を広げるかを検討する方針だ。C型肝炎は進行する前は症状が出ないことが多く、感染を知っても治療しない人も多いという。

や肝がんに行進するケースが多く、治療後も経過観察が必要。患者と地域のかかりつけ医、肝臓の専門医の間で情報を共有し、治療を適切に受けられるようにする。

検査で陽性が判明すると、かかりつけ医が専門医療機関に患者を紹介。専門医が交付する手帳に患者が検査結果や治療内容などを記入する。肝炎

問合せ先

〇C型肝炎地域連携パスの運用について（手帳の記載方法、手帳の配布等）
（23区）

〒105-8470 東京都港区虎ノ門 2-2-2
東京都肝疾患診療連携拠点病院 虎の門病院
肝疾患相談センター事務局
TEL:03-3560-7672 FAX:03-3560-7630

（多摩地区）

〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1
東京都肝疾患連携拠点病院 武蔵野赤十字病院
消化器科 板倉 潤
TEL/FAX : 0422-32-0012（直通）

〇C型肝炎地域連携パスの事業概要について

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課
疾病対策推進担当 吉開・小松
TEL:03-5320-4476

ホームページでも御案内しています

◆虎の門病院

東京都肝疾患診療連携拠点病院 虎の門病院 肝疾患相談センター
<http://www.toranomon.gr.jp/kanzo/>

◆武蔵野赤十字病院

東京都肝疾患診療連携拠点病院 武蔵野赤十字病院 肝疾患相談センター
<http://kan-kyoten-musashino.jp/index.html>

◆東京都

東京都福祉保健局→医療・保健→医療・保健施策→東京都のウイルス肝炎対策
→C型肝炎地域連携パスの運用

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryu/iryu_hoken/kanen_senryaku/index.html